

Market Watching

発表日: 2020年10月12日(月)

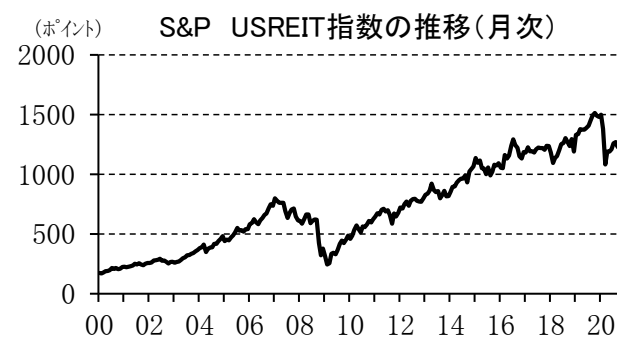
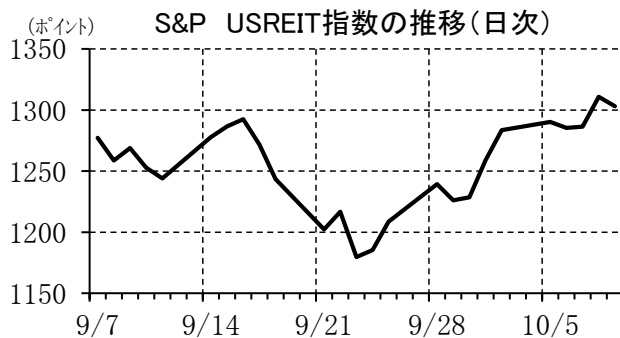
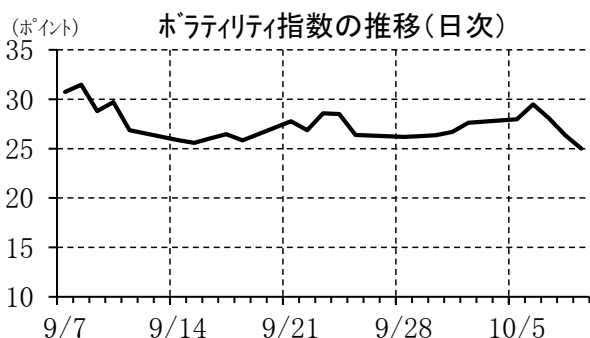
米追加景気対策期待高まるなか、第三波の兆候も(マーケットウィークリー)
～第二波拡大の欧州では経済活動制限強まる傾向～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
10月5日(月)	ユーロ: 小売売上高(8月) 米国: ISM非製造業景気指数(9月)	+4.4% 57.8	+2.5% 56.3	▲1.3% 56.9	前月比 ポイント
10月6日(火)	豪州: 金融政策委員会 米国: 貿易収支(8月)	0.25% ▲671	0.25% ▲650	0.25% ▲636	RBA政策金利誘導目標 億ドル
10月7日(水)	日本: 景気動向指数(8月)・CI一致指数 ・CI先行指数	+1.1pt +2.1pt	+2.1pt +1.1pt	+3.9pt +2.9pt	前月差 前月差
10月8日(木)	日本: 国際収支統計(8月)・経常収支 日本: 景気ウォッチャー調査(9月)・先行き判断DI 米国: 新規失業保険申請件数(10/3終了週)	+21,028 48.3 840	+20,600 44.0 820	+14,683 42.4 837	億円、原数値 千件
10月9日(金)	日本: 毎月勤労統計(8月)・現金給与総額 日本: 家計調査(8月)・全世帯実質消費支出 英国: 鉱工業生産(8月)	▲1.3% ▲6.9% +0.3%	▲1.2% ▲6.9% +2.6%	▲1.3% ▲7.6% +5.2%	前年比 前年比 前月比
10月10日(土)	—				
10月11日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.774	+7.3	+0.6	▲131.3	0.137	0.141	0.449
日本	0.030	+1.0	+0.5	+24.5	0.019	0.022	-0.003
ドイツ	-0.527	+0.9	▲6.5	+2.1	-0.502	-0.477	-0.444
豪州	0.850	+1.8	▲4.2	▲3.2	0.857	0.878	0.923
株価							
NYダウ	28586.90	+3.3	+2.3	+8.5	27724	27323	26208
日経平均	23619.69	+2.6	+2.5	+10.1	23338	22930	21872
ユーロSTOXX50	3273.12	+2.6	▲1.6	▲5.5	3246	3284	3234
上海総合	3272.08	+1.7	+0.5	+11.9	3255	3299	3053
為替相場							
ドル/円	105.62	+0.3	▲0.5	▲1.7	105.55	106.14	107.47
ユーロ/円	124.93	+1.2	▲0.3	+5.9	124.20	124.02	121.02
豪ドル/円	76.47	+1.4	▲1.1	+5.8	75.95	75.82	72.86
ユーロ/ドル	1.1826	+0.9	+0.2	+7.8	1.177	1.168	1.127
商品市況							
WTI	40.60	+9.6	+6.7	▲22.8	39.36	40.75	38.14
金	1919.5	+1.0	▲1.4	+27.4	1913	1906	1747

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (10/5~10/9) の金融市場は、トランプ米大統領のコロナ感染からの早期復帰と、与野党による追加景気対策の合意期待を支えに市場のリスク許容度が回復、株高・金利上昇の流れとなった。

今週のマーケットは、米国では追加景気対策が実現するかどうかに最も注目が集まる。ロックダウン解除後の米国経済は、給付金や失業保険金の積み増しなどによって支えられた個人消費の順調な回復によって持ち直した。それだけに、政策の期限切れや縮小など“財政の崖”による消費の失速は、もっとも警戒すべきリスク要因となり、追加景気対策に対する米与野党の動きに対する世界の注目度は高い。一方、欧州では新型コロナウイルスの感染第二波による感染者増加に歯止めがかからず、経済活動への制限が強まる傾向にあり、景気への影響が懸念される。ただし、ユーロ圏の小売売上高は、ようやく8月分が先週発表されたばかりであり、第二波による影響の実態が経済指標で確認されるのはおよそ2ヶ月後となる。感染動向については、第二波のピークから新規感染者数が減少傾向を辿っていた米国でも、このところ増加傾向に転じつつあり、追加景気対策が遅れたり、規模が十分でないと判断されれば、市場の安心感を買いそびれる恐れがある。なお、大統領選挙に関しては、第二回の大統領候補テレビ討論会が中止になるなど、異例の展開を辿っている。トランプ大統領の超早期退院やその後の行動などから、新型コロナウイルスを軽視しているとの批判が一段と高まる一方で、ウイルスに振り回されないとする主張は一部で熱狂的な支持を受けている。両候補の全米での支持率の差は開いている一方で、結果を左右する可能性が大きい激戦州での支持率の差は、前回選挙ほどではなく、選挙結果は蓋を開けるまでわからない状況に変わりはない。大統領選が近づくにつれ、徐々に市場の動きは乏しくなっていく。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
10月12日(月)	日本：機械受注統計(8月)・船電除く民需	★★	▲15.6%	▲16.2%	前年比
10月13日(火)	中国：貿易統計(9月)・輸出	★★★★	+9.5%	+9.5%	前年比
	・輸入	★★★★	▲0.3%	▲2.1%	前年比
	インドネシア：金融政策決定会合	★	4.00%	4.00%	7日物リバースレボ金利
	英国：失業率(9月)・失業保険受給ベース		—	7.6%	
	ドイツ：ZEW景況感調査(10月)・期待指数	★	+72.0	+77.4	ポイント
	米国：消費者物価指数(9月)・総合	★	+1.4%	+1.3%	前年比
	・コア	★	+1.8%	+1.7%	前年比
10月14日(水)	ユーロ：鉱工業生産(8月)	★	+0.7%	+4.1%	前月比
10月15日(木)	中国：消費者物価指数(9月)		+2.0%	+2.4%	前年比
	米国：NY連銀製造業景気指数(10月)	★★	+12.0	+17.0	ポイント
	米国：フィッテッド連銀製造業景況感指数(10月)	★★	+15.0	+15.0	ポイント
	米国：新規失業保険申請件数(10/10終了週)	★★★★	825	840	千件
10月16日(金)	米国：小売売上高(9月)・全体	★★★★	+0.7%	+0.6%	前月比
	・除自動車	★★★★	+0.4%	+0.7%	前月比
	米国：鉱工業生産指数(9月)	★	+0.7%	+0.4%	前月比
	米国：ミシガン大学消費者信頼感指数(10月速報値)	★★★★	80.5	80.4	ポイント
	米国：企業在庫(8月)		+0.4%	+0.1%	前年比
10月17日(土)	—				
10月18日(日)	—				

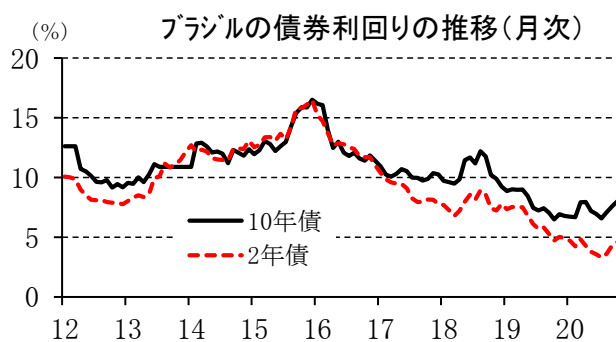
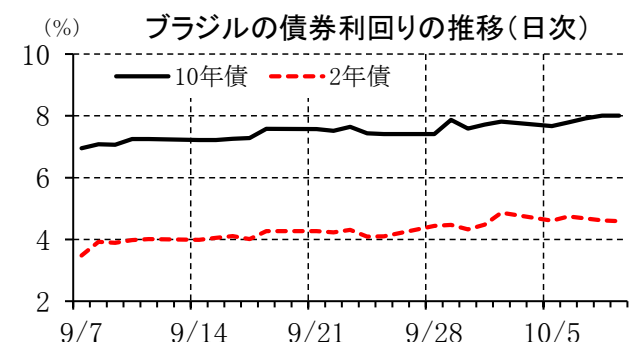
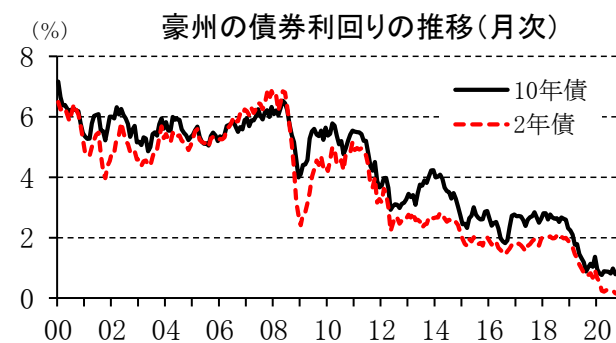
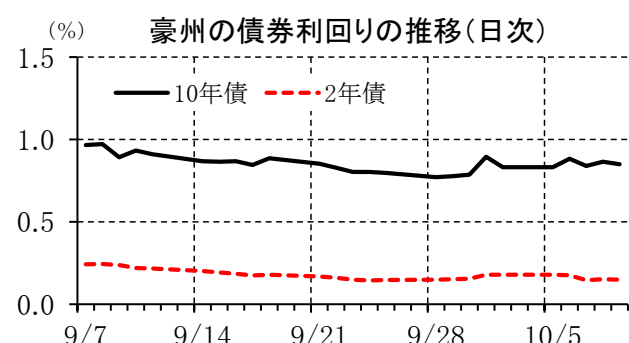
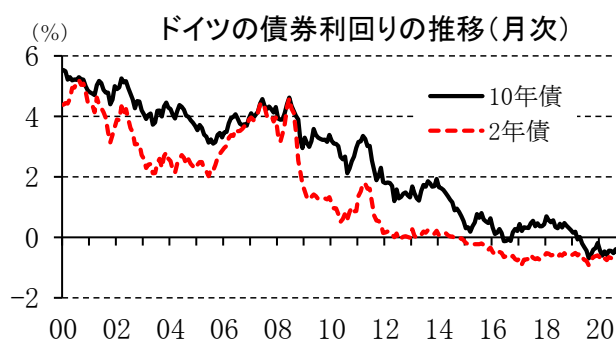
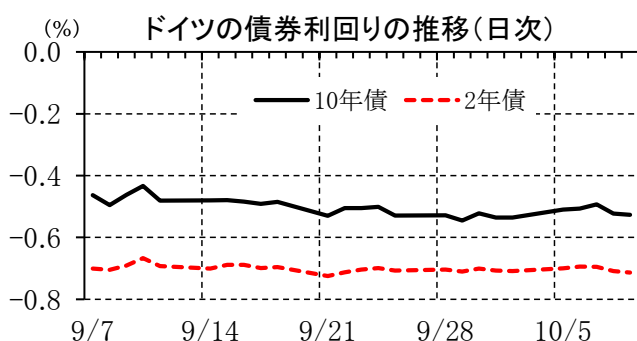
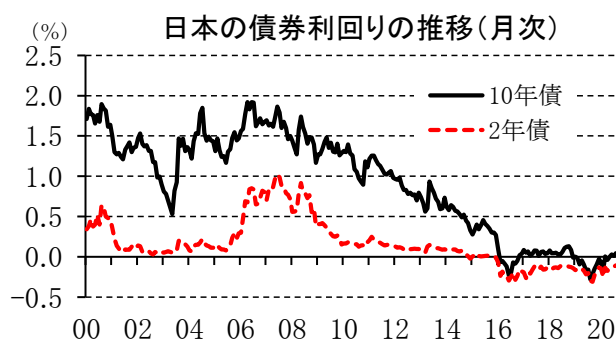
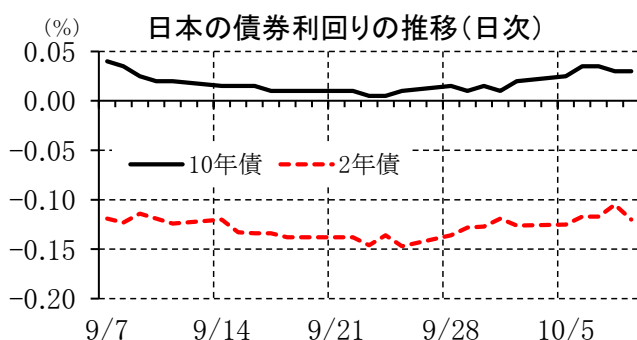
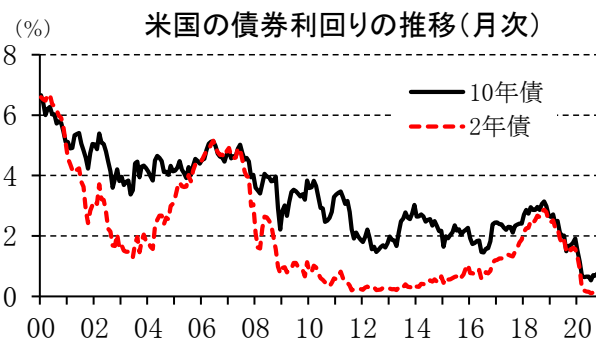
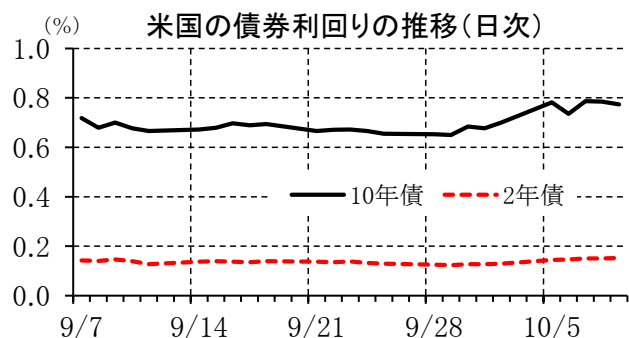
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

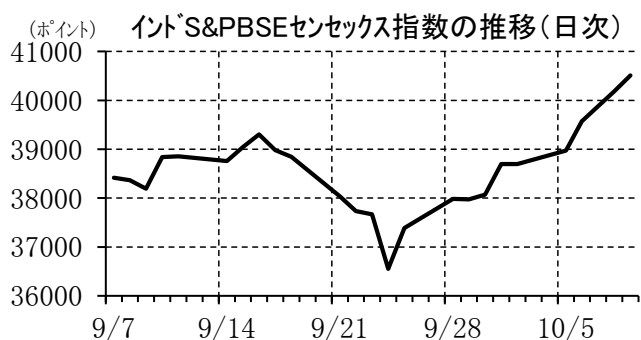
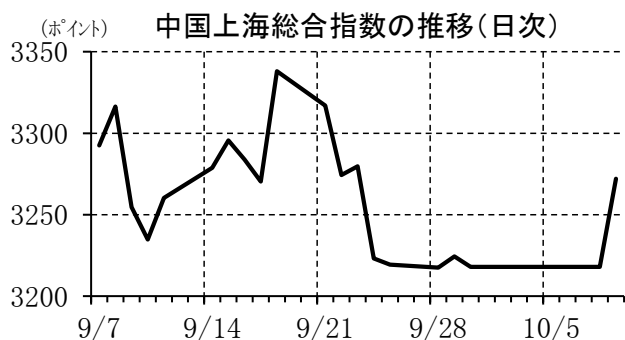
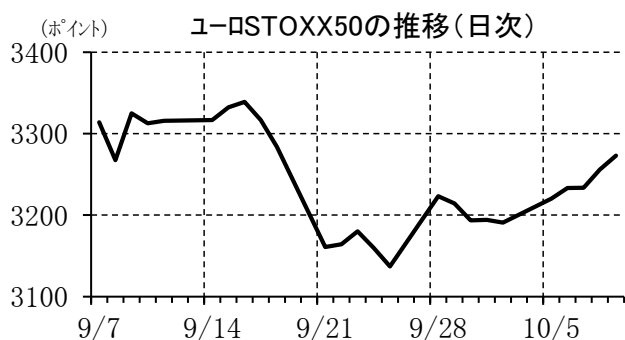
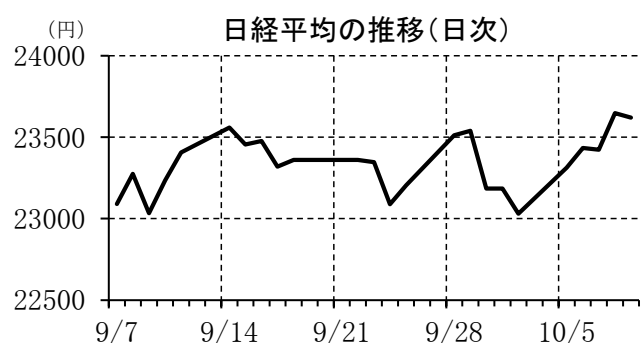
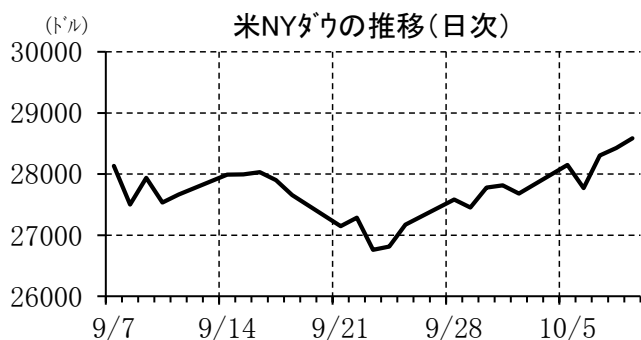
発表日	イベント	注目度	備考
10月12日(月)	米国：祝日(債券市場休場)		
	日本：黒田日銀総裁講演	★★	
	世銀・IMF年次総会(～10/18)	★★	
	英国：ヘイリ-BOE総裁講演	★★	
	ユーロ：シュナールECB理事講演	★	
	ユーロ：デギントスECB副総裁講演	★	
	ユーロ：バネッテECB理事講演	★	
10月13日(火)	IMF世界経済見通し	★★★★	
10月14日(水)	G20第4回財務相・中銀総裁会合	★★★★	
	ユーロ：ラカールトECB総裁講演	★★★★	
	ユーロ：メルシエECB理事講演	★	
	米国：クラリクFRB副議長講演	★	
	米国：クウォールズFRB副議長講演	★	
10月15日(木)	EU：首脳会議(～10/16)	★★	
	ユーロ：ラカールトECB総裁講演	★★	
	米国：クウォールズFRB副議長講演	★	
	米国：第2回米大統領候補者討論会→中止		
10月16日(金)	—		
10月17日(土)	NZ：総選挙		
10月18日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

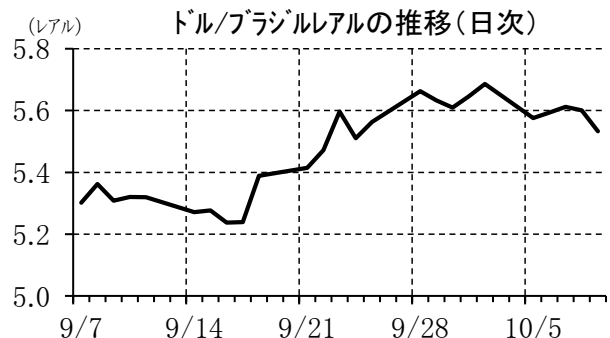
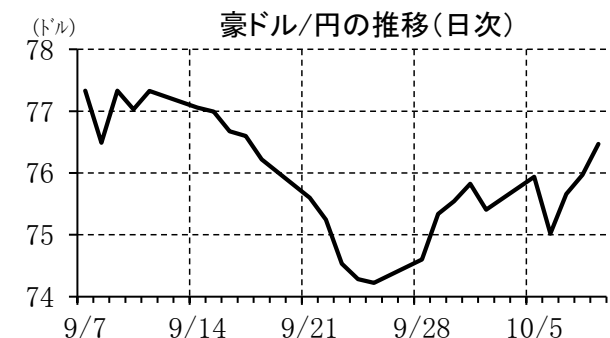
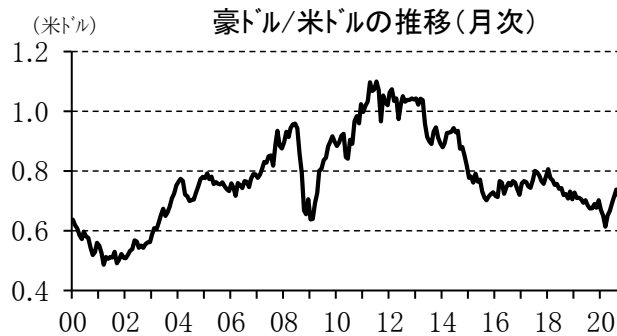
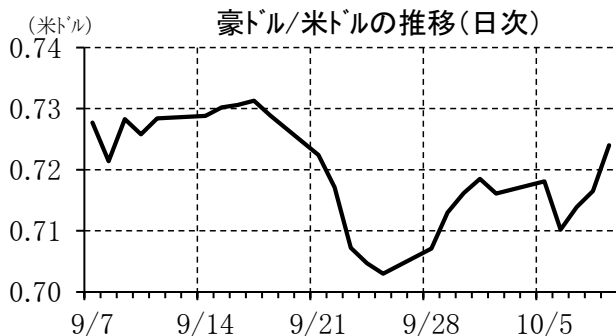
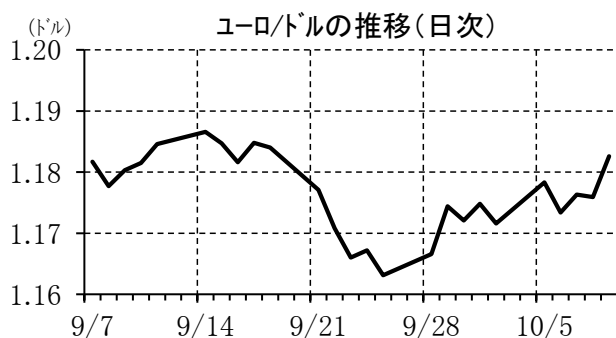
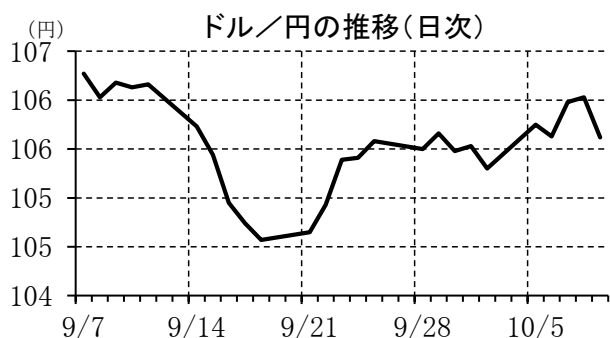
【債券利回り】



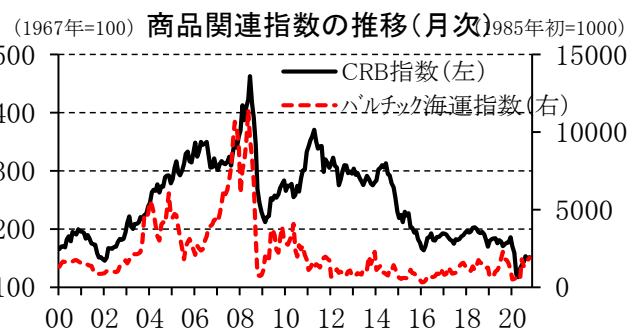
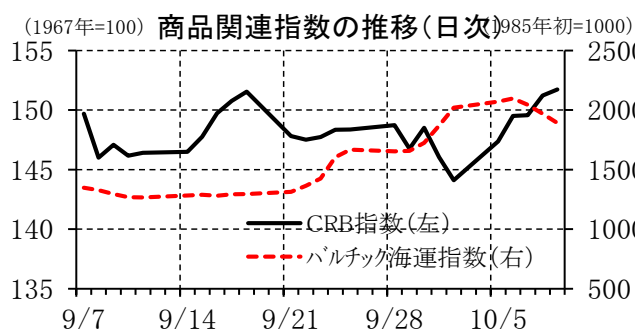
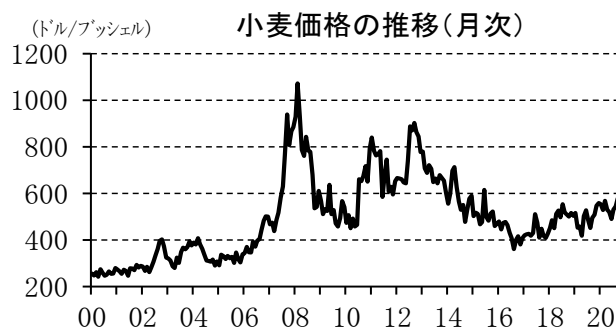
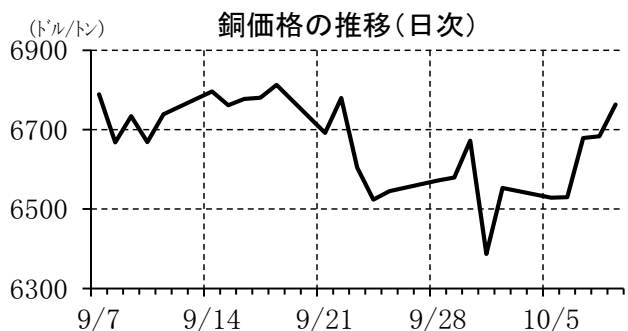
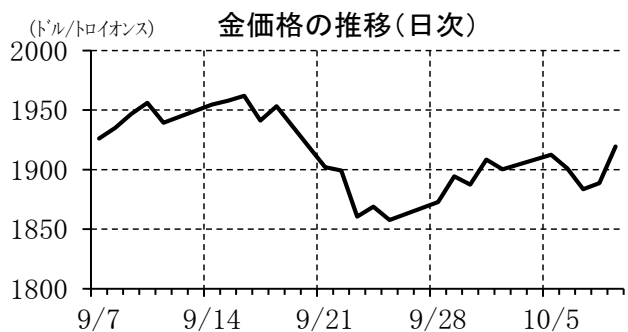
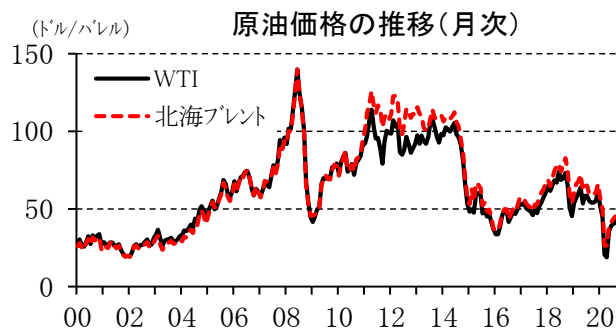
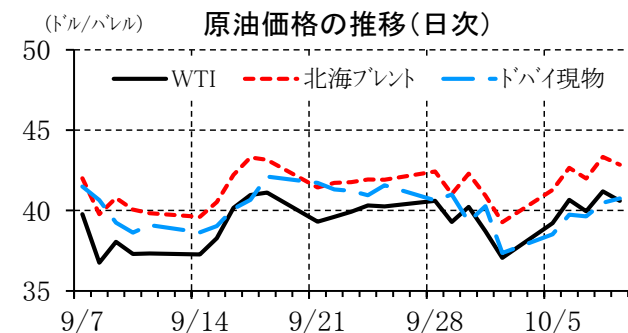
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。